

平成22年度事業報告書

事業の状況

1. 青少年を対象とする学校講道館の経営

平成22年度の学校講道館の学習指導の概要を少年部、成年部について、また、入学状況、出席状況については平成18年度、19年度、20年度、21年度を挙げて22年度と比較した。

(1) 入学状況

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
少年(男・女)	98名	111名	97名	93名	110名
成年(男)	107名	84名	74名	89名	70名
成年(女)	14名	27名	19名	16名	19名

2) 出席状況(数字は普通科、特修科をあわせたものである)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
少年(男・女)	26,656名	28,089名	26,943名	26,746名	24,112名
成年(男)	10,922名	9,672名	8,563名	8,789名	6,154名
成年(女)	2,258名	2,342名	1,697名	2,148名	1,611名

(3) 学習内容

各科においては、それぞれの対象の実態をふまえた上で、生徒の心身の発育、発達段階や、能力・適性、興味・関心等の実状を考慮し、技術面と態度面から学習内容を展開した。態度に関する内容は柔道が我が国の伝統的な運動文化であるため、特に礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、健康・安全に関する態度及び柔道の持つ伝統的な行動の仕方に留意する態度などを重視して指導に当たった。

(4) 学習状況

- (ア) 少年：基本を大切にし、柔道本来の目的である「正しく組んで、理にかなった技で一本を取る柔道」を目指して、意欲的に学習している。強さだけでなく、心技体における正しい柔道の学習に意欲を高めている。
- (イ) 成年：中学生から社会人まで年齢には差が大きいですが、柔道を学ぶ姿勢に於いてはその差異は見られない。学生は学業との、また社会人は仕事・生活とのバランスを保ちながら、各人が可能な限り集めて作った時間だけに、授業態度はすばらしく、自らが進んで行くという意欲を感じるものであった。

2. 小中高等学校等の柔道指導者に依る青少年の健全育成に関する協議会の開催

昨年8月18日、19日、島根県松江市において、全国中学校柔道大会に先立ち、中体連柔道競技部の全国(47都道府県)委員長を対象として、「講道館中学校柔道指導者講習会」を開催し、柔道の教育的、体育的、精神的面から柔道を通じて次代を担う青少年の健全な育成をはかる方策について意見を交換した。また、講道館から講師を派遣し、「中学校における柔道指導者の在り方」「国際柔道連盟試合審判規定を中心とした審判規定の考え方」について講演を行った。

3. 柔道に依る青少年の健全育成に関する実践報告会及び研究会の開催

- (1) 大阪恒例の柔道フェスティバルが5月9日(日)大阪国際柔道センターで開催された。当日幼少年部の練習生・父兄が多数集まり、センター全員と親睦を図ると共に、日頃の練習の成果を乱取・形の演技・掛かり稽古等を通じて披露するなど、柔道フェスティバルにふさわしい催しとなった。
- (2) 予定していた関東と関西の幼少年部の練習生・家族・指導者の親睦を図ることを目的とした合同稽古・親睦試合は、諸般の事情により中止としたが、大阪国際柔道センターの幼少年部10名ほどが、少年柔道夏期講習会に参加し、交流を深めた。
- (3) 2月11日(金・祝)に全日本柔道少年団都道府県代表者会議を開き、柔道少年団の組織の強化・活動の充実化の為の具体案や、小学校児童の健全育成の対策等について意見の交換を行った。

4. 柔道による青少年の健全育成に関する国内外諸団体との連絡・資料交換及び交流

講道館段位推薦委託団体(111団体)の会長会議を平成23年3月17日(木)に開催を予定していたが、東日本大震災の影響により、中止することとなった。

5. 講道館道場における柔道の指導教授

(1) 稽古時間及び指導時間

(本館)		(大阪)	
ア. 一般稽古		午後6:00-8:00	
平日	男子	午後	4:00-8:00
	女子	午後	5:30-7:30
土曜	男子	午後	4:00-7:30
	女子	平日に同じ	
イ. 少年指導		午後	4:30-6:00
ウ. 「形」指導		午後	5:00-6:00
		毎月第2・第3土曜日	
		午後	3:30-5:30

(2) 指導員・講師

道場における修業者の指導を適切に行うため、道場指導部においては、錬成部指導員(15名)、成年部指導員(26名)、女子部指導員(20名)及び大阪道場指導員(22名)を選任し、学校講道館では少年部講師(23名)、男子部講師(37名)、女子部講師(12名)及び国際科講師(11名)を選任し、各部毎に指導計画、実施方法を定めて技術面、精神面にわたり指導した。特に指導に関しては柔道技術面にとどまることなく、講道館柔道が目的とするところの師範の遺訓の精神に基いた人間形成、社会貢献を目的とした高邁な理想を目指し礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、柔道の持つ伝統的な行動の仕方を留意する態度などを重視して指導にあたった。

(3) 研修会の開催

学校講道館講師、道場指導員、柔道高段者等を対象に、資質の向上と自己研磨に資する目的で、下記研修会を毎月1、2回実施した。

- ・講道館各種の形及び技の研修

6. 柔道に関する講習会の開催

(1) 夏期講習会

夏期講習会を7月20日から8月4日までの間、下記の通り実施した。

講習名	受講資格	講習の目的	期間	受講者数 (修了者数)
第1部	男子四段、女子弐段以上	柔道指導者の資質の向上	7.20～ 7.26	341名 (173名)
第2部	参段以下の有段者・無段者	柔道修行の基礎の確立	7.27～ 7.31	319名 (260名)
女子柔道	女子柔道修行者	〃	7.27～ 7.30	28名 (26名)
少年柔道	少年柔道修行者	〃	8.2～ 8.4	203名 (174名)
計				891名 (633名)

(2) 講道館講習会

正しい柔道の一層の普及発展を図るため、本年度も本館から講師を派遣し（経費は講道館負担）、講道館講習会を次の通り実施した。派遣先は計19カ所で、講師の延べ人数は24名であった。

	日時	主管	開催場所	講習内容	派遣講師
1	H22/ 4/11(日)	福井県柔道連盟	福井県立武道館	審判講習	藤原敬生
2	4/11(日)	愛媛県柔道協会	愛媛県武道館	審判講習	平野弘幸
3	4/25(日)	埼玉県柔道連盟	埼玉県立武道館	極の形・固の形	福島美智男 山本三四郎
4	5/3(月)	福島県柔道連盟	郡山総合体育館（柔道場）	審判講習	諏訪 剛
5	5/5(水)	千葉県柔道連盟	千葉県総合スポーツ科学センター	審判講習	高橋 進
6	5/9(日)	長野県柔道連盟	小諸市武道館	審判講習	高濱久和
7	5/9(日)	島根県柔道連盟	サンアピリティーズいずも	審判講習	藤猪省太
8	5/22(土)	栃木県柔道連盟	栃木県武道館	審判講習	安齋悦雄
9	5/23(日)	青森県柔道連盟	青森市スポーツ会館(柔道場)	審判講習	川口孝夫
10	5/30(日)	沖縄県柔道連盟	沖縄県立武道館	審判講習	川口孝夫
11	6/27(日)	香川県柔道連盟	香川県立武道館	投の形・柔の形	鮫島元成
12	6/27(日)	荒川区柔道会	荒川総合スポーツセンター-武道場	投の形	南保徳双
13	8/1(日)	愛知県柔道連盟	愛知県武道館	審判講習	松井 勲

14	8/18(水)	日本中学校体育連盟	くにびきメッセ	指導者講習	上村春樹
	8/19(木)		松江市総合体育館(会議室)	審判講習	川口孝夫
15	9/19(日)	板橋区柔道会	板橋区立小豆沢体育館武道場	審判講習	高橋健司
16	9/26(日)	三重県柔道連盟	三重武道館	審判講習	藤猪省太
17	10/16.17 (土、日)	和歌山県 柔道連盟	柔道会館	全国中学校柔道大会運営講習とその実際	浅野哲男
18	11/3 (水・祝)	山口県柔道協会	徳山大学武道場	審判講習	松井 勲
19	H23/2/11 (金・祝)	全日本少年団	講道館新館2階教室	柔道講話	村上 清
	礼法とルネッサンスについて			浅野哲男	
	試合審判について			川口孝夫	

(3) 講道館形講習会

制定された正しい“形”の修得を目指してもらう為に、全国10地区毎に講道館“形”講習会を本年も実施した。派遣先は、今回は10地区(11ヶ所)で、講師は延べ44名であった。

開催日	地区	会場	形及び講師
H22/4/4(日)	中国地区柔道連盟	山口県スポーツ文化センター 武道館	投の形 : 南保 徳双 極の形 : 宇津木 俊博 柔の形 : 永井 多恵子 古式の形 : 佐藤 正
5/8(土)	九州柔道協会 (北部)	福岡武道館	投の形 : 平野 弘幸 極の形 : 長谷川 育男 柔の形 : 石橋 桂子 古式の形 : 山本 四郎
5/8(土)	東京都柔道連盟	講道館 (学校、国際部道場)	投の形 : 南保 徳双 極の形 : 道場 良久 柔の形 : 梅津 勝子 古式の形 : 松井 勲

5/15(土)	東海柔道連合会	岐阜市メモリアルセンター	投の形 : 向井 幹博 極の形 : 福島 美智男 柔の形 : 永井 多恵子 古式の形 : 醍醐 敏郎
5/23(日)	東北柔道連盟	山形市総合スポーツセンター 武道館	投の形 : 菅原 正明 極の形 : 貝瀬 輝夫 柔の形 : 若松 節子 古式の形 : 千葉 翠
5/30(日)	四国柔道連盟	高知県武道館	投の形 : 菅原 正明 極の形 : 村田 直樹 柔の形 : 若松 節子 古式の形 : 榎 義治
6/5(土)	九州柔道協会 (南部)	鹿児島アリーナ	投の形 : 向井 幹博 極の形 : 松下 三郎 柔の形 : 尾形 敬史 古式の形 : 福島 美智男
6/12、13 (土、日)	北信越柔道連盟	福井県立武道館	投の形 : 山本 三四郎 極の形 : 道場 良久 柔の形 : 梅津 勝子 古式の形 : 宇津木 俊博
6/20(日)	近畿柔道連盟	講道館大阪国際柔道 センター	投の形 : 小志田 憲一 極の形 : 長谷川 育男 柔の形 : 秋山 澄子 古式の形 : 宗 義明
6/20(日)	北海道柔道連盟	北海道立総合体育 センター	投の形 : 山本 三四郎 極の形 : 貝瀬 輝夫 柔の形 : 新井 絹世 古式の形 : 宇津木 俊博

6/26(土)	関東柔道連合会	埼玉県立武道館	投の形 : 藤田 真郎 極の形 : 佐藤 正 柔の形 : 安部 一郎 古式の形 : 千葉 翠
---------	---------	---------	---

7. 柔道に関する調査研究

- (1) 講道館柔道科学研究会は、嘉納治五郎師範の下に結成された柔道医事研究会の流れを継承している。現在、本研究会は、事務局本部
 - 第1研究室・・・柔道の原理的研究、歴史的研究
 - 第2研究室・・・柔道の心理的研究、統計、因子分析的研究
 - 第3研究室・・・体力測定、試合分析
 - 第4研究室・・・柔道の生理学的研究、バイオメカニクスの研究
 の4研究室に分かれて研究の為に実験用具・機器・図書文献等の整備を図りつつ、継続研究として、柔道の原理・歴史研究班、体力研究班、技術分析班、指導研究班に分かれて研究活動を進め、研究結果のまとめとして、『研究紀要第十三輯』を発刊した。
- (2) 講道館技研究部会は、形部門に特化して「形検討委員会」を設け、DVD作成、教本の見直し等を行った。研究会については、実施出来なかった。
- (3) 指導書作成委員会（仮称）を立ち上げる為の準備会議を開催した。
- (4) 技のDVD作成については、形では「形検討委員会」にて、DVD作成を行った。また、全日本柔道選手権大会（昭和編）および世界柔道選手権大会についての記録用並びに販売用DVDを作成した。

8. 柔道の大会

- (1) 皇后杯全日本女子柔道選手権大会
本館と全日本柔道連盟共催の全日本女子柔道選手権大会は、前年度優勝者の推薦1名と全国10地区代表35名の計36名により4月18日、横浜文化体育館にて開催された。塚田真希が9連覇を達成した。
- (2) 全国柔道高段者大会
4月28日講道館大道場で挙行。全国から八段31名、七段265名、六段525名、五段546名合計1,367名の参加申込があり、盛会であった。
- (3) 全日本柔道選手権大会
本館と全日本柔道連盟共催の全日本柔道選手権大会は、4月29日昭和の日に日本武道館で盛大にとりおこなわれた。出場選手は前年度優勝者及び準優勝者に10地区選出の35名を加え合計37名であったが、高橋和彦四段が初優勝を果たした。
- (4) 全国少年柔道大会
第30回全国少年柔道大会は5月5日講道館大道場において開催された。都道府県各1チーム（東京都2チーム）の48チームが参加、試合は団体戦と個人戦が行われ、団体戦は神奈川県朝飛道場が優勝（3連覇）した。個人戦の小学5年の部は北海道登別誠有館有櫛道場の中里勇斗、小学6年の部は神奈川県朝飛道場の辻湧斗がそれぞれ優勝した。

(5) 全日本柔道形競技大会

本館と全日本柔道連盟共催の全日本柔道形競技大会は、10月31日に講道館大道場で挙行された。投の形・固の形・極の形・柔の形・講道館護身術・五の形・古式の形の7種目が行われ、全国の10地区代表69組に地区を跨いでペアを組む全国枠4組を加え、合計73組146名により優劣が競われ、次のとおり優勝者が決定した。

投の形	内山貴之・松井孝文（北信越地区）
固の形	小室宏二・高野賢司（東京地区）
極の形	奥野憲司・角田健介（東京地区）
柔の形	横山悦子・大森千草（北信越地区）
講道館護身術	武田 武・宮崎純一（東京地区）
五の形	春日啓孝・勝見藤一（北信越地区）
古式の形	井上康彦・米重清光（全国枠）

(6) 講道館杯全日本柔道体重別選手権大会

本館と全日本柔道連盟共催の講道館杯全日本柔道体重別選手権大会は、11月20日、21日の両日、千葉ポートアリーナにおいて開催された。優勝者は次のとおり。

(男子)		(女子)	
60kg級	山本浩史（日本体育大学3年）	48kg級	浅見八留奈（山梨学院大学4年）
66kg級	小寺将史（筑波大学2年）	52kg級	山本 杏（桐蔭学園高校1年）
73kg級	中矢 力（東海大学3年）	57kg級	牧 志津香（筑波大学3年）
81kg級	河原正太（京葉ガス）	63kg級	谷本育実（コマツ）
90kg級	西山将士（新日本製鐵）	70kg級	國原頼子（自衛隊体育学校）
100kg級	羽賀龍之介（東海大学1年）	78kg級	平岡麻美（平成国際大学柔道クラブ）
100kg超級	百瀬 優（国士舘大学3年）	78kg超級	山部佳苗（山梨学院大学2年）

9. 柔道指導者の養成並びに外国派遣

(1) 海外派遣

ア. 本館による短期派遣

○六段 向井幹博、五段 下山陽邦
ベトナム

平成22年5月22日～5月29日

○九段 上村春樹、九段 松下三郎、八段 佐藤正、八段 福島美智男、八段 藤田真郎、八段 小俣幸嗣、七段 村田直樹、七段 鮫島元成、七段 井浦吉彦、七段 道場良久、六段 向井幹博、六段 小志田憲一、五段 大辻広文

クロアチア（講道館形講習会）

平成23年2月28日～3月9日

イ. 海外柔道連盟招聘による本館短期派遣

○八段 伊志嶺朝秋
モンゴル

平成22年6月5日～6月17日

○八段 小俣幸嗣
ドイツ（形指導）

平成22年6月27日～7月7日

○女子七段 永井多恵子
ベトナム（形指導）

平成22年8月20日～8月25日

○八段 佐藤正、七段 道場良久、女子七段 永井多恵子
オーストラリア（形指導）

平成22年9月14日～9月21日

○八段 川口孝夫、七段 阿部高弘
香港（審判・コーチングセミナー）

平成22年10月28日～11月1日

○八段 福島美智男
イタリア（形指導） 平成23年1月19日～1月25日

○八段 佐藤正、女子七段 永井多恵子
カナダ（形指導） 平成23年1月27日～2月9日

ウ. 海外柔道連盟招聘による本館長期派遣

○六段 菊池正敏
マカオ 平成22年3月31日～平成23年3月31日

エ. 国際交流基金による短期派遣

○八段 山下泰裕、五段 井上康生
イスラエル、パレスチナ 平成22年7月17日～7月23日

○七段 甲斐光、六段 眞喜志慶治、五段 平智哉、五段 石川美久
アンゴラ、ボツワナ、タンザニア 平成22年11月6日～11月19日

○女子七段 永井多恵子
コートジボワール 平成22年11月25日～12月13日

○八段 柏崎克彦、六段 内村直也、五段 廣川充志、五段 大坪俊裕
ジャマイカ、ドミニカ共和国、ニカラグア 平成23年2月5日～2月19日

オ. 日本武道館による短期派遣

○八段 片田誠、六段 吉鷹幸春、六段 村田正夫、五段 南保徳双、五段 井上智和、五段 植木義朋
メキシコ 平成22年11月10日～11月17日

カ. 国際協力機構による短期派遣

○八段 藤田真郎
インド 平成22年6月3日～6月10日

(2) 外国人受け入れ

ア. 平成22年度、本館において修行した外国人は男子52カ国より677名、女子22カ国より132名、合計で53カ国より809名の外国人修行者が訪れた。（国際大会を含まない）
昨年と比べ、国数においては6カ国の増、修行者数では男子57名の増、女子16名の増、全体で78名の増であった。

以下、国別来館者数上位10カ国とその全体比、各国男女比である。

	国名	来館者数	全体比	男女比
1.	フランス	181名	約14.8%	男138 女43
2.	アメリカ	89名	約11.0%	男80 女9
3.	イタリア	81名	約10.0%	男69 女12
4.	ドイツ	58名	約7.2%	男49 女9
5.	オランダ	50名	約6.2%	男40 女10
6.	オーストラリア	46名	約5.7%	男41 女5
7.	イギリス	26名	約3.2%	男25 女1
8.	デンマーク	25名	約3.1%	男17 女8
9.	カナダ	23名	約2.8%	男23 女0
9.	韓国	23名	約2.8%	男23 女0

以下、スペイン、モンゴル、香港、ベルギー、フィンランド、フィリピンと続いた。

イ. 本館で受け入れた外国からの団体及びナショナルチーム等

チェコ	(グループ)	5名	フランス	(グループ)	17名
オーストラリア	(グループ)	3名	フランス	(グループ)	3名
フランス	(グループ)	6名	フィリピン	(大学グループ)	13名
オーストラリア	(グループ)	3名	オーストリア	(ナショナル)	4名

フランス	(グループ)	10名	デンマーク	(グループ)	6名
フランス	(グループ)	12名	フランス	(グループ)	12名
イタリア	(グループ)	6名	スウェーデン	(グループ)	3名
ポルトガル	(グループ)	3名	イタリア	(グループ)	4名
ベトナム	(グループ)	7名	スペイン	(グループ)	3名
イタリア	(グループ)	3名	韓国	(グループ)	12名
オランダ	(グループ)	12名	ドイツ	(グループ)	11名
オーストリア	(グループ)	3名	イタリア	(グループ)	7名
イタリア	(グループ)	6名	ロシア	(グループ)	8名
イタリア	(グループ)	4名	イタリア	(グループ)	7名
ルーマニア	(形ナショナル)	4名	オランダ	(グループ)	4名
ドイツ	(グループ)	13名	香港	(グループ)	6名
アメリカ	(グループ)	7名	イタリア	(グループ)	4名
イギリス	(グループ)	3名	フランス	(グループ)	17名
フランス	(グループ)	6名	スペイン	(グループ)	4名
フィンランド	(グループ)	3名	フランス	(グループ)	5名
アルゼンチン	(グループ)	3名	オーストラリア	(グループ)	4名
カナダ	(グループ)	4名	ドイツ	(グループ)	6名
イエメン	(ナショナル)	4名	オランダ	(グループ)	13名
オーストラリア	(グループ)	3名	デンマーク	(グループ)	18名
フランス	(障害者柔道連盟)	16名	サウジアラビア	(ナショナル)	8名
ベネズエラ(パラリンピックチーム)		8名	オランダ	(グループ)	3名
アルゼンチン	(グループ)	8名	ボツワナ	(ナショナル)	1名
ニュージーランド	(ナショナル)	1名	オーストラリア	(グループ)	8名
モンゴル	(グループ)	13名			

ウ. 国際大会での受け入れ

世界柔道選手権2010東京大会

期間 : 平成22年9月9日～9月13日

参加国数 : 111の国と地域

参加人数 : 男540名、女307名 合計847名

グランドスラム東京2010

期間 : 平成22年12月11日～12月13日

参加国数 : 53の国と地域

参加人数 : 男207名、女154名 合計361名

エ. 講道館柔道国際セミナーを下記の通り開催した。

期間 : 平成23年2月16日～3月11日

受講者 : ラオス2名、ヨルダン2名、キルギス2名、モンゴル2名

計8名

オ. その他来館者(デモンストレーション、賓客、取材等)

外国青年招聘(内閣府事業) 25名 国際化学オリンピック高校生 335名

イラク警察官(JICA招聘) 10名 イェン・パレスナ選手団(外務省招聘) 6名

(3) その他

ア. JICA(国際協力機構)青年海外協力隊員技術補完研修を下記の通り実施した。

期間 : 平成22年11月8日～12月1日

受講者 : 平成22年4次隊 2名

茂木慎太郎参段(サモア)、小林幹佳参段(パナマ)

期間 : 平成23年2月16日～3月11日

受講者 : 平成23年1次隊 2名

浦田太五段(ペルー)、藤後あさみ女子参段(エルサルバドル)

イ. 本館における技術補完研修を終了して派遣されている J I C A (国際協力機構) 青年海外協力隊員
平成 2 2 年度に任期を終了して帰国した隊員 (計 4 名)

参段	渡辺昇平	(エジプト)	女子参段	松登美幸	(エルサルバドル)
弐段	奥澤耕輔	(シリア)	女子参段	小島千明	(ホンジュラス)

平成 2 3 年 3 月 3 1 日現在で赴任中の隊員 (計 1 4 名)

参段	長瀬拓巳	(インド)	参段	渡辺和也	(マダガスカル)
参段	北条吉伸	(マラウイ)	女子参段	馬場あゆみ	(ラオス)
参段	井上大智	(インド)	参段	小倉大輝	(モンゴル)
参段	堂本司	(ウズベキスタン)			
参段	安部勇次	(シリア)	参段	矢部哲也	(ガボン)
女子参段	仲元あゆみ	(ザンビア)	四段	千原慎太郎	(バングラデシュ)
参段	茂木慎太郎	(サモア)	参段	小林 幹佳	(パナマ)
参段	福田一博	(ニジェール) ※一時帰国中			

ウ. J I C A (国際協力機構) 海外シニアボランティア

平成 2 2 年度に任期を終了して帰国したシニアボランティア (計 5 名)

七段	高橋斎	(エジプト)	六段	江口幸光	(ガーナ)
七段	前田政博	(ネパール)	六段	今里宏一郎	(コロンビア)
五段	柿沼豊	(モルジブ)			

平成 2 3 年 3 月 3 1 日現在で赴任中のシニアボランティア (計 5 名)

七段	関雅夫	(モロッコ)	六段	小島敏男	(ラオス)
四段	小山繁	(マレーシア)	七段	杉山允宏	(ホンジュラス)
七段	堀甲子男	(チュニジア) ※一時帰国中			

エ. 柔道器材支援事業

a. 搬出

講道館柔道器材支援事業として、下記の通り、柔道衣合計 475 着を送付・寄贈した。

支援先		発送日	発送数 (着)
コロンビア	(柔道連盟)	平成 2 2 年 5 月 2 8 日	130
モンゴル	(青年海外協力隊)	平成 2 2 年 6 月 4 日	55
イラク	(警察官)	平成 2 2 年 8 月 9 日	10
シリア	(青年海外協力隊)	平成 2 2 年 8 月 2 5 日	49
マダガスカル	(柔道連盟)	平成 2 2 年 9 月 2 9 日	48
サウジアラビア	(柔道連盟)	平成 2 2 年 1 0 月 2 6 日	11
コロンビア	(柔道連盟)	平成 2 2 年 1 2 月 1 7 日	50
マレーシア	(柔道連盟)	平成 2 3 年 1 月 1 1 日	50
ニジェール	(青年海外協力隊)	平成 2 3 年 1 月 2 5 日	52
モンゴル	(柔道連盟)	平成 2 3 年 2 月 4 日	10
ジャマイカ	(柔道連盟)	平成 2 3 年 2 月 4 日	10

b. 搬入

支援用柔道衣として、下記の提供を頂き、合計 439 着の柔道衣を搬入した。

提供元	搬入日	搬入数 (着)
早稲田高等学校	平成 2 2 年 4 月 1 日	109
一般	平成 2 2 年 5 月 2 2 日	130
柔道衣製造業者	平成 2 2 年 7 月 5 日	200

1 0. 海外支部の設置運営

資金面で当分実現困難な状況にある。

1 1. 柔道に関する図書、雑誌の編集発行

(1) 雑誌「柔道」

講道館機関誌であり、且つ全日本柔道連盟連絡誌である月刊「柔道」を4月～1月は2,600部、2～3月は2,550部、毎月1日に発行した。内容は講道館柔道に関する論説、国内外柔道界における主要な大会、行事の報告、昇段者表、科学の頁等であり、広く国の内外に配布して柔道の普及発展に寄与した。

(2) 図書

すでに発行され、販売中のもの
投の形、固の形、極の形、柔の形、講道館護身術、五の形・古式の形、
昇段内規、K I M E - N O - K A T A ・ J U - N O - K A T A (仏文)、
嘉納治五郎(伝記)、JIGORO KANO AND THE KODOKAN (同伝記英語版)
講道館柔道試合審判規定、柔道用語小辞典、激闘の轍

(3) ビデオ

すでに発行され、販売中のもの
投技、固技、五の形、古式の形、
術から道へ、全日本柔道選手権大会、嘉納治五郎杯国際柔道大会、鏡開式

(4) DVD

すでに発行され、販売中のもの
投の形、固の形、極の形、柔の形、講道館護身術、全日本柔道選手権大会
激闘の轍(昭和編)、世界柔道選手権大会(三巻セット)

1 2. 柔道に関する文献資料の蒐集・保存及び展示

(1) 資料館

ア. 資料の保存環境の向上

定期的な清掃を行い、資料の保存に適した環境の維持、向上に努めた。

イ. 入館者数 3,215人 (前年度比 389人減)

国内男性 1,054人、国内女性 531人、海外男性 1186人、海外女性 444人

総合的学習の一環として来館した学校は以下の1校(事前申請のあった学校のみ記載)

葛飾区立葛美中学校

ウ. 資料収集の促進

寄贈受入 写真3点、その他17点

エ. 大会開催日等における休日開館

実施日：全国少年柔道大会合同錬成(5月4日)、世界選手権東京大会(9月11日・12日)、千代田区民柔道大会(10月16日)、全日本柔道「形」競技大会(10月31日)、鏡開式(1月9日)

(2) 図書館

ア. 柔道関係の文献・AV資料の収集・保存・提供

1) 和書 97冊(うち寄贈91冊、購入5冊、その他2冊)

2) 洋書 19冊(全て寄贈)

3) AV資料 19点(全て寄贈)

蔵書数は和書3,328冊、洋書879冊の合計4,207冊となった。

イ. 主要な大会プログラムの収集・保存・提供

受け入れたプログラム数 53点

ウ. 逐次刊行物（雑誌・新聞）の受入継続

1) 寄贈

- ・「柔道」講道館，81巻4-12号，82巻1-3号 2010年4-12月，2011年1-3月
- ・「月刊武道」日本武道館，2010年4-12月，2011年1-3月
- ・「近代柔道」ベースボール・マガジン社，32巻4-12号，33巻1-3号
2010年4-12月，2011年1-3月

2) 購入

- ・「武道学研究」（平成22年度分）
- ・「体育学研究」（同上）

エ. 柔道に関する調査依頼への対応

問い合わせ件数 35件（研究者、学生、マスコミ関係者、一般等）

オ. 図書館利用者数 545人（前年度比 71人減）

国内男性 305人、国内女性 77人、海外男性 107人、海外女性 56人

13. 柔道の段位認定・入門・登録

(1) 入門者

本年度の入門者は24,116名で昨年度に比べ187名の増となった。
過去10年の入門状況は次のとおりである。

年 度	入門者数(名)	前年比(名)	年 度	入門者数(名)	前年比(名)
H13	25,576 (男子) 21,672 (女子) 3,904	+ 282	H18	28,278 (男子) 23,900 (女子) 4,378	+1,162
H14	27,553 (男子) 23,141 (女子) 4,412	+1,977	H19	25,188 (男子) 21,360 (女子) 3,828	-3,090
H15	27,152 (男子) 22,833 (女子) 4,319	-401	H20	25,281 (男子) 21,345 (女子) 3,936	+93
H16	26,671 (男子) 22,479 (女子) 4,192	-481	H21	23,929 (男子) 19,867 (女子) 4,062	-1,352
H17	27,116 (男子) 22,821 (女子) 4,295	+445	H22	24,116 (男子) 19,949 (女子) 4,167	+187

(2) 外国人入門者（上記(1)の内数）

本年度の外国人入門者は56の国・地域から男子445名、女子97名の合計542名であった。

(3) 昇段者

本年度の昇段者は合計32,241名で内訳は次のとおり。（ ）内は女子で外数

初 段	19,501 (4,081)	六 段	274 (3)
弐 段	4,574 (753)	七 段	6 (0)
参 段	1,656 (199)	八 段	10 (0)
四 段	691 (35)	九 段	1 (0)
五 段	448 (9)	十 段	0 (0)
		計	27,161名 (5,080名)

14. 其の他本財団の目的を達成するため必要なる事業

(1) 暑中稽古

本館：7月13日～7月22日の10日間実施し、皆出席者150名
大阪：8月3日～8月7日の5日間実施し、皆出席者7名

(2) 寒稽古

本館：1月6日～1月15日の10日間実施し、皆出席者230名
大阪：1月11日～1月15日の5日間実施し、皆出席者6名

(3) 紅白試合

恒例の紅白試合は5月と10月に、大阪では4月と11月に実施した。

○参加者

春季紅白試合：男子 572名 女子 109名 計 681名

秋季紅白試合：男子 419名 女子 101名 計 520名

大阪 前期：男子 151名 女子 79名 計 230名

後期：男子 149名 女子 59名 計 208名

○当日成績抜群による即日昇段者

春季：初段から二段へ1名、二段から参段へ3名

秋季：二段から参段へ1名

女子二段から女子参段へ1名

大阪 前期：初段から二段へ1名、初段から参段へ1名、女子二段から女子参段へ1名

後期：初段から二段へ1名

合計：10名

(4) 月次試合

本館：5月、10月及び1月を除く各月に実施した。本年度の出場者は1,309名。

また、女子の部を5月、9月及び3月に実施した。本年度の出場者は40名。

大阪：5月、7月、9月、11月、1月及び3月（奇数月）に実施した。本年度の出場者は475名。

処務の概要

(1) 役員に関する事項
財団法人講道館役員名簿

(平成23年4月1日現在)

役職 (常・非)	氏名	任期	官庁・議員出身 の有無	現職	備考
理事〔館長〕 (常)	上村春樹	7年(ただし、公益財団法人設立登記前日まで)	無	講道館長	平21.4.1 館長就任
理事 (常)	嘉納行光	公益財団法人設立登記前日まで	〃	講道館名誉館長	平21.4.1 名誉館長就任
〃 (非)	阿南惟正	〃	〃	全日本柔道連盟理事	平14.4.1 理事就任
〃 (非)	安西邦夫	〃	〃	東京ガス㈱特別顧問	平2.6.22 理事就任
監事 (非)	押切義春	〃	〃	元㈱ポーラ化粧品本舗 取締役	平20.4.1 監事就任
〃 (常)	松下三郎	〃	〃	講道館参与	平16.3.25 監事就任
評議員 (非)	安部一郎	〃	〃	講道館非常勤参与	平2.6.22 就任
〃 (非)	今富研三	〃	〃	元講道館振興部長	平14.4.1 就任
〃 (常)	岩崎安孝	〃	〃	講道館参与	平11.4.1 就任
〃 (非)	大澤慶己	〃	〃	講道館非常勤参与	平4.4.1 就任
〃 (非)	小野澤弘史	〃	〃	全日本柔道連盟専務理事	平16.3.25 就任
〃 (常)	木村忠雄	〃	〃	講道館参与	平19.4.1 就任
〃 (非)	小俣幸嗣	〃	〃	筑波大学教授	平19.4.1 就任
〃 (非)	佐藤宣踐	〃	〃	全日本柔道連盟副会長	平20.4.1 就任
〃 (非)	菅原弘	〃	〃	全日本柔道連盟参与	平10.3.26 就任
〃 (非)	関根忍	〃	〃	全日本柔道連盟評議員	平16.3.25 就任
〃 (非)	醍醐敏郎	〃	警察庁 技官	講道館非常勤参与	平4.4.1 就任
〃 (非)	高梨幸輔	〃	無	北海道柔道連盟会長	平19.7.1 就任
評議員 (非)	田中等	〃	〃	講道館顧問弁護士	平16.3.25 就任

役職 (常・非)	氏名	任期	官庁・議 員出身 の有無	現職	備考
〃 (非)	千 葉 翠	公益財団法人設立 登記前日まで	無	岩手県柔道連盟会長	平 16.3.25 就任
〃 (常)	中 野 忠 利	〃	〃	講道館参与	平 6.4.1 就任
〃 (常)	中 村 良 三	〃	〃	講道館参与	平 19.7.1 就任
〃 (非)	蓮 見 弘	〃	〃	埼玉県柔道連盟会長	平 19.7.1 就任
〃 (非)	藤 田 弘 明	〃	〃	全日本柔道連盟副会長	平 19.7.1 就任
〃 (非)	増 山 陽 章	〃	〃	全日本柔道連盟参与	平 10.3.26 就任
〃 (非)	柳 澤 久	〃	〃	三井住友海上火災保険(株) 女子柔道部監督	平 16.3.25 就任
〃 (非)	山 口 宏	〃	〃	全日本柔道連盟参与	平 8.4.1 就任
〃 (非)	吉 村 和 郎	〃	〃	全日本柔道連盟理事	平 19.4.1 就任

(注) 増山陽章：平成 23 年 5 月 25 日逝去

(2) 理事会・評議員会・維持委員会

ア. 平成22年6月7日

- ・平成22年度第1回評議員会
 - 第1号議案：平成21年度事業報告書案承認の件 …………… 原案通り承認可決
 - 第2号議案：平成21年度決算報告書案承認の件 …………… 原案通り承認可決
- ・平成22年度第1回理事会
 - 第1号議案：平成21年度事業報告書案承認の件 …………… 原案通り承認可決
 - 第2号議案：平成21年度決算報告書案承認の件 …………… 原案通り承認可決

イ. 平成23年3月23日

- ・平成22年度第1回維持委員会
 - 第1号議案：評議員の改選の件 …………… 原案通り承認可決
- ・平成22年度第2回理事会
 - 第1号議案：維持員の推薦の件 …………… 原案通り承認可決
- ・平成22年度第2回評議員会
 - 第1号議案：維持員、理事、監事の改選の件 …………… 原案通り承認可決
 - 第2号議案：平成22年度補正収支予算書案承認の件 …………… 原案通り承認可決
 - 第3号議案：平成23年度事業計画書案承認の件 …………… 原案通り承認可決
 - 第4号議案：平成23年度収支予算書案承認の件 …………… 原案通り承認可決
 - 第5号議案：〈公益財団法人認定申請関係〉
 - 最初の評議員の選任方法案承認の件 …………… 原案通り承認可決
 - 第6号議案：〈公益財団法人認定申請関係〉
 - 最初の評議員選定委員会運営規則案承認の件 …… 原案通り承認可決
- ・平成22年度第3回理事会
 - 第1号議案：平成22年度補正収支予算書案承認の件 …………… 原案通り承認可決
 - 第2号議案：平成23年度事業計画書案承認の件 …………… 原案通り承認可決
 - 第3号議案：平成23年度収支予算書案承認の件 …………… 原案通り承認可決
 - 第4号議案：〈公益財団法人認定申請関係〉
 - 最初の評議員の選任方法案承認の件 …………… 原案通り承認可決
 - 第5号議案：〈公益財団法人認定申請関係〉
 - 最初の評議員選定委員会運営規則案承認の件 …… 原案通り承認可決

以上